



北海道洞爺湖サミットに向けて

カリタスジャパン責任司教 菊地 功
担当司教 幸田和生

今年の7月7日から9日まで、北海道の洞爺湖でG8サミットが開催されます。サミットは「主要8カ国首脳会議」とも呼ばれる枠組みで、現代世界が直面する様々な課題について話し合われます。

教皇ベネディクト16世は昨年のサミットにあたり、このように述べました。「どうか特にアフリカ大陸における最貧困国の人びとのための開発援助を実質的に増やすという約束を破らないでください。(中略) わたしはこの目標実現のために真剣な取り組みがなされることを望みます。」

カリタスジャパンは全世界のカリタスネットワークを通して、抑圧され、誰からも顧みられることのない人々がその尊厳を回復し、自立して生きていくことができるよう、彼らと共に歩み、活動しています。私たちは、G8サミット各国首脳が世界のすべての人の声に耳を傾け、これまでの公約を守り、ミレニアム開発目標実現に向けて自らの責任を自覚して行動するよう、皆様と共にがきを通して訴えていきたいと思えます。



以上の趣旨にご賛同頂ける方は、下記はがきに署名し、切り取って切手を貼り、サミット開催までに議長である日本国首相宛にお送り下さい。

【裏面もご覧下さい】

「私たちは、世界の全ての人々の尊厳が
大切にされる社会の実現を望みます」

For the realization of a world in which human dignity is respected

人々が自らの努力によって社会・経済的に自立していくことができるよう、その環境を整える責任を政府が自覚し、行動することを求めます。
そのためにも、2005年のイギリス・グレンイーグルズサミットの公約を守り、ミレニアム開発目標実現に向けて取り組みを推進するよう要求します。

2008年 ____ 月 ____ 日 署名 _____



URL : <http://www.caritas.jp>

北海道洞爺湖サミットのテーマと貧困問題

- ✓ 環境・気候変動
- ✓ 開発・アフリカ
- ✓ 世界経済
- ✓ 核不拡散をはじめとする政治問題

私たちが生きるこの世界には実に多くの問題が山積みになっています。今年のサミットではそのごく一部を取り上げるわけですが、中でも貧困問題は全世界の、特に弱い立場にある人々の生命や生活を脅かし、深刻な影響を与え続けています。

「国連ミレニアム宣言」と「ミレニアム開発目標」

2000年の国連総会において採択された「国連ミレニアム宣言」は、貧困問題の解決に向けて大きな一歩を踏み出しました。この宣言に関連して「ミレニアム開発目標」が定められ、世界の国々は“2015年までに世界の貧困を半減させる”ことを約束したのです。以来世界はこの目標の実現に向けて取り組んでおり、G8諸国もこの流れに歩みを合わせてきました。

近年特に注目されるG8の取り組みは、2005年にイギリス・グレンイーグルズサミットで合意された、“世界の豊かな国々が2010年までに500億米ドルを追加援助として貧しい国々に送る”という公約です。ところが、これらの国々による2006年の援助実績は前年比で5%以上も減額されており、サミット公約も、またミレニアム開発目標自体の実現も危ぶまれています。

100-0014

東京都千代田区永田町二丁目二番一号
首相官邸

内閣総理大臣 福田康夫 様

お手数ですが
50円切手をお
貼り下さい。

「私たちは、世界の全ての人々の尊厳が
大切にされる社会の実現を望みます」